

2026 年 5 月 11 日

日本イーライリリー株式会社
〒651-0086
神戸市中央区磯上通 5-1-28
www.lilly.com/jp

EL26-19

ーグローバル創立 150 周年、A Medicine Company への誓いー

**日本イーライリリーが売上高 2,760 億円、3 年連続 2 桁成長で過去最高を達成
研究開発・供給体制・人財への継続的な投資を通じて、リーディングカンパニーへ**

- 2025 年度売上高は 2,760 億円(前年比 25%増)と過去最高を更新。新製品・成長製品群の売上高は前年比 57%増加となり、全売上高の 3 年連続の 2 桁成長を牽引。
- 世界同時開発戦略に基づく研究開発への継続的な投資に加え、将来の製品や需要拡大を見据えた 200 億円の西神工場への追加投資を通じて、2030 年までに日本における製薬業界のリーディングカンパニーとなるビジョンを加速。
- イーライリリー・アンド・カンパニーは 2026 年に創立 150 周年を迎えた。1876 年の創業以来、最先端の科学技術を基盤とした革新的医薬品の研究開発を通じて、最も困難な疾患に挑み、今後も健康寿命の延伸への貢献を続けていく。

日本イーライリリー株式会社(本社:兵庫県神戸市、代表取締役社長:シモーネ・トムセン、以下、日本イーライリリー)は、2025 年度の売上高が前年比 25%増の 2,760 億円^{*1}となり、過去最高を更新したことを発表しました。新製品・成長製品群の売上高が前年比 57%増加することで、3 年連続の 2 桁成長を牽引し、日本イーライリリーとして力強い成長の基盤となりました。

「グローバルポートフォリオ 100%を日本に届ける」というコミットメントのもと、2025 年も患者さんの治療選択肢を着実に拡大しました。肥満症^{*2}治療薬「ゼップバウンド[®]」の上市に加え、ヒト化抗ヒト IL-23p19 モノクローナル抗体製剤「オンボ[®]」および抗悪性腫瘍剤「ジャイパーカ[®]」の適応追加承認を取得。さらに、アルツハイマー病による軽度認知障害および軽度の認知症治療薬「ケサンラ[®]」の新用法・用量への一部変更承認、抗悪性腫瘍剤「レットヴィモ[®]」の剤形追加承認などを取得し、よりよい治療に向けた選択肢の提供を広げています。

研究開発においては新薬開発プロジェクト数が過去最多を記録し、製品ポートフォリオの拡充に加えて、今後の成長を担う強固なパイプラインがさらに進展しました。また、西神工場(兵庫県神戸市)では 70 億円を投資した新棟開設や新規ライン導入の完了後、2026 年 3 月に追加で 200 億円の投資を決定。2028 年にかけて新規生産ラインの導入や倉庫棟の新設、工場のデジタル化・プロセス自動化の推進を計画しており、将来の製品や需要拡大を見据えた供給体制のさらなる強化を進めています。

日本イーライリリー代表取締役社長 シモーネ・トムセンは以下のように述べています。
「リリーはグローバルで 150 周年を迎え、さらなる健康寿命の延伸に向けて取り組みを加速しています。日本においては、革新的な医薬品の開発や供給体制、それらを支える多様な人財に継続的な投資を行っており、2025 年は会社創立 50 年を祝うことができました。さらに、認知症や肥満症など、偏見や誤解により医療アクセスに課題があるとされる疾患を取り巻く社会やエコシステムの変容にも注力しています。2030 年までに製薬業界のリーディングカンパニーとなるビジョンに向かって、私たちは患者さんに寄り添い、日本社会への貢献と飛躍的な成長を追求し続けてまいります。」

製品カテゴリー	2025 年度 売上高	構成比	対前年比 売上高増減	対前年比 販売数量増減
新製品・ 成長製品	1,580 億円	57%	+57%	+59%
成熟製品	1,180 億円	43%	-1%	-2%
計	2,760 億円	100%	+25%	+26%

2025 年の承認取得・適応追加・上市状況

- ヒト化抗ヒト IL-23p19 モノクローナル抗体製剤「オンボー®」について、中等症から重症の活動期クローン病の治療（既存治療で効果不十分な場合に限り）に対する適応追加承認を取得（3 月 27 日）
- 持続性 GIP/GLP-1 受容体作動薬「ゼップバウンド®」について、複合的な要因からなる慢性疾患である肥満症※2を効能・効果として発売（4 月 11 日）
- クローン病※3におけるヒト化抗ヒト IL-23p19 モノクローナル抗体製剤「オンボー®皮下注 200mg オートインジェクター」（6 月 23 日）、「オンボー®皮下注 200mg シリンジ」（8 月 25 日）を新発売
- GLP-1 受容体作動薬「トルリシティ®皮下注 1.5mg アテオス®」新発売（7 月 30 日）
- アルツハイマー病による軽度認知障害および軽度の認知症治療薬「ケサンラ®」について、新しい用法及び用量への一部変更承認を取得（8 月 25 日）
- 抗悪性腫瘍剤「レットヴィモ®」について、剤形追加に関する承認を取得（9 月 17 日、発売：12 月 5 日）
- 抗悪性腫瘍剤「ジャイパーカ®」について、他の BTK 阻害剤に抵抗性又は不耐容の再発又は難治性の慢性リンパ性白血病（小リンパ球性リンパ腫を含む）に対する適応追加承認を取得（9 月 19 日）
- 抗エストロゲン剤/抗悪性腫瘍剤「イムルリオ®」について、内分泌療法後に増悪した ESR1 遺伝子変異を有するホルモン受容体陽性かつ HER2 陰性の手術不能又は再発乳癌を効能又は効果として、国内製造販売承認を取得（12 月 22 日）

※1 売上高に関しては、決算ベースの数字にグローバルアライアンスの売上等を加えた数字。製品群の変更に伴い、変化率を算出するため昨年の数値を再計算。

※2 承認されたゼップバウンドの適応症は、「肥満症 ただし、高血圧、脂質異常症又は 2 型糖尿病のいずれかを有し、食事療法・運動療法を行っても十分な効果が得られず、以下に該当する場合に限る。

・BMI が 27 kg/m2 以上であり、2 つ以上の肥満に関連する健康障害を有する

・BMI が 35 kg/m2 以上

※3 中等症から重症の活動期クローン病の治療（既存治療で効果不十分な場合に限り）

以上

イーライリリー・アンド・カンパニー(リリー)について

リリーは世界中の人々のより豊かな人生のため、科学に思いやりを込めて、革新的医薬品を創り出す製薬会社です。約150年にわたり、リリーは患者さんの人生を変えるような発見や開発を続け、今日では医薬品を通じて世界中で数千万人もの人々を支えています。糖尿病治療における変革に加え、肥満症やアルツハイマー病への継続的な挑戦、自己免疫疾患へのソリューション提供、そして最も治療の困難ながん(癌)を管理可能な疾患に変えること。こうした世界で最も重要とも言える健康課題の解決を目指し、リリーの科学者たちはバイオテクノロジー、化学、遺伝子医学を駆使して一刻も早く患者さんに医薬品をお届けできるよう、開発に取り組んでいま

す。この世界の多様性を反映した革新的な臨床試験や医薬品へのアクセス改善を含め、「世界中の人々のより豊かな人生への貢献」という使命を胸に、リリーはさらなる健康な世界の実現に向けて、一歩ずつ歩みを進めてまいります。リリーの詳細については、Lilly.comやLilly.com/newsをご覧ください。

日本イーライリリーについて

日本イーライリリー株式会社は、米国に本社をおくグローバル製薬企業イーライリリー・アンド・カンパニーの日本法人として、最先端の科学技術を基盤とした革新的医薬品の研究開発および供給に、50年以上にわたり継続的に取り組んでいます。ダイアベティス(糖尿病)、肥満症、がん、アルツハイマー病を含む中枢神経系疾患、自己免疫疾患など幅広い領域において医療の可能性を切り拓き、誰もが必要な医療を安心して受けられる社会づくりや、人々の健康で豊かな人生の実現に貢献してまいります。

詳細は当社ウェブサイトをご覧ください。<https://www.lilly.com/jp>

<参考資料>

2025 年度 製品別売上高（日本）（薬価ベース、IQVIA JPM (2025 年 12 月 MAT)をもとに作成）

製品名	売上高(億円)	対前年比
マンジャロ®	1,049.23	+280.2%
ページニオ®	756.23	+9.2%
サイラムザ®	459.23	-7.4%
オルミエント®	362.23	+15.6%
トルリシティ®	150.96	+1.5%
トルツ®	141.86	+10.1%
エムガルティ®	140.67	+24.5%
オンボー®	89.96	+87.4%
イブグリース®	86.90	+443.3%
ヒューマログ®ヒューマリン®	69.27	-4.7%
ケサンラ®	65.38	+28126.6%
レットヴィモ®	48.58	+16.2%
インスリン グラルギン BS 注「リリー」	38.84	-4.1%
ルムジェブ®	21.73	+5.2%
ジャイパーカ®	20.93	+527.0%
フォルテオ®	19.62	-40.7%
サインバルタ®	16.60	-75.1%
レイボー®	9.93	+12.3%
エビスタ®	9.31	-42.6%
アリムタ®	7.66	-40.5%
ストラテラ®	7.37	-75.7%
ゼップバウンド®	3.84	n/a
ヒューマトロープ®	1.82	-84.6%
ジェムザール®	0.46	-84.1%
バクスミー®	0.17	-91.0%
ジプレキサ®	0.14	-99.6%

Copyright © 2026 IQVIA. 無断転載禁止

<参考資料>

開発品一覧（2026 年 3 月 31 日現在）

治験薬記号（一般名）および剤型	予定される効能又は効果、 対象疾患名および症状名	国内の 開発段階
LY2951742（一般名：ガルカネズマブ[遺伝子組換え]）皮下注製剤	片頭痛発作の発症抑制（小児用量）	開発後期
LY3002813（一般名：ドナネマブ）静注製剤	プレクリニカル期アルツハイマー病	開発後期
LY3009104（一般名：バリシチニブ）経口投与製剤	円形脱毛症（小児用量）	開発後期
LY3009104（一般名：バリシチニブ）経口投与製剤	全身型若年性特発性関節炎	開発後期
LY3009104（一般名：バリシチニブ）経口投与製剤	1 型糖尿病	開発後期
LY3074828（一般名：ミリキズマブ）静注製剤，皮下注製剤	クローン病（小児用量）	開発後期
LY3074828（一般名：ミリキズマブ）静注製剤，皮下注製剤	潰瘍性大腸炎（小児用量）	開発後期
LY3209590（一般名：insulin efsitora alfa）皮下注製剤	糖尿病	開発後期
LY3298176（一般名：チルゼパチド）皮下注製剤	代謝機能障害関連脂肪性肝疾患	開発後期
LY3298176（一般名：チルゼパチド）皮下注製剤	1 型糖尿病	開発後期
LY3372993（一般名：remternetug）静注製剤，皮下注製剤	早期アルツハイマー病（プレクリニカル期アルツハイマー病を含む）	開発後期
LY3437943（一般名：retatrutide）皮下注製剤	代謝性機能障害関連脂肪性肝疾患	開発後期
LY3473329（一般名：muvalaplin）経口投与製剤	アテローム性動脈硬化性心血管疾患	開発後期
LY3484356（一般名：イムルネストラント）経口投与製剤	乳がんにおける術後補助化学療法	開発後期
LY3502970（一般名：オルホルグリブロン）経口投与製剤	肥満症	開発後期
LY3502970（一般名：オルホルグリブロン）経口投与製剤	心血管アウトカム	開発後期
LY3502970（一般名：オルホルグリブロン）経口投与製剤	末梢動脈疾患	開発後期
LY3502970（一般名：オルホルグリブロン）経口投与製剤	糖尿病	開発後期
LY3502970（一般名：オルホルグリブロン）経口投与製剤	高血圧症	開発後期
LY3502970（一般名：オルホルグリブロン）経口投与製剤	閉塞性睡眠時無呼吸症候群	開発後期
LY3502970（一般名：オルホルグリブロン）経口投与製剤	腹圧性尿失禁	開発後期
LY3502970（一般名：オルホルグリブロン）経口投与製剤	肥満症（小児用量）	開発後期
LY3502970（一般名：オルホルグリブロン）経口投与製剤	変形性関節症における疼痛	開発後期
LY3527723（一般名：セルベルカチニブ）経口投与製剤	RET 融合遺伝子陽性の非小細胞肺癌における術後補助療法	開発後期
LY3527727（一般名：ピルトブルチニブ）経口投与製剤	マントル細胞リンパ腫	開発後期
LY3537031（一般名：brenipatide）皮下注製剤	アルコール使用障害	開発後期
LY3537031（一般名：brenipatide）皮下注製剤	うつ病	開発後期
LY3537982（一般名：olomorasib）経口投与製剤	KRAS G12C 変異陽性の非小細胞肺癌（All PD-L1）	開発後期
LY3537982（一般名：olomorasib）経口投与製剤	KRAS G12C 変異陽性の非小細胞肺癌（PD-L1 high）	開発後期
LY3537982（一般名：olomorasib）経口投与製剤	KRAS G12C 変異陽性の治癒切除不能な非小細胞肺癌における根治的化学放射線療法後の維持療法	開発後期
LY3537982（一般名：olomorasib）経口投与製剤	KRAS G12C 変異陽性の非小細胞肺癌における術後薬物療法	開発後期
LY3650150（一般名：レブリキズマブ）皮下注製剤	鼻茸を伴う慢性副鼻腔炎	開発後期
LY3650150（一般名：レブリキズマブ）皮下注製剤	アトピー性皮膚炎（小児用量）	開発後期
LY3819469（一般名：lepodisiran）皮下注製剤	アテローム性動脈硬化性心血管疾患	開発後期
LY3841136（一般名：eloralintide）皮下注製剤	肥満症	開発後期
LY3841136（一般名：eloralintide）皮下注製剤	変形性関節症における疼痛	開発後期

LY3841136(一般名: eloralintide)皮下注製剤	閉塞性睡眠時無呼吸症候群	開発後期
LY3841136(一般名: eloralintide)皮下注製剤ーインクレチン製剤併用	肥満症	開発後期
LY4170156(一般名: sofetabart mipitecan)静注製剤	プラチナ抵抗性卵巣癌	開発後期
LY4170156(一般名: sofetabart mipitecan)静注製剤	プラチナ感受性卵巣癌	開発後期
LY2835219(一般名: アベマシクリブ)経口投与製剤	ユーイング肉腫	開発中期
LY3009806(一般名: ラムシルマブ[遺伝子組換え])静注製剤	線維形成性小円形細胞腫瘍 (小児用量)	開発中期
LY3041658(一般名: eltrekibart)静注製剤, 皮下注製剤	潰瘍性大腸炎	開発中期
LY3154207(一般名: mevidalen)経口投与製剤	アルツハイマー病	開発中期
LY3527723(一般名: セルペルカチニブ)経口投与製剤	RET 遺伝子異常を有する小児固形がん	開発中期
LY3537021(一般名: 未定)皮下注製剤	化学療法誘発性悪心嘔吐	開発中期
LY3537031(一般名: brenipatide)皮下注製剤	喘息	開発中期
LY3537031(一般名: brenipatide)皮下注製剤	双極性障害	開発中期
LY3537031(一般名: brenipatide)皮下注製剤	タバコ使用障害	開発中期
LY3537031(一般名: brenipatide)皮下注製剤	統合失調症	開発中期
LY3561774(一般名: solbinsiran)皮下注製剤	重症高トリグリセリド血症	開発中期
LY3848575(一般名: 未定)皮下注製剤	疼痛	開発中期
LY3985863(一般名: ビマグルマブ)皮下注製剤	肥満症	開発中期
LY4100511(一般名: simepdekinra)経口投与製剤	乾癬	開発中期
LY4268989(一般名: 未定)経口投与製剤	クローン病	開発中期
LY4268989(一般名: 未定)経口投与製剤	潰瘍性大腸炎	開発中期
LY4268989(一般名: 未定)経口投与製剤 + ミリキズマブ 皮下注製剤	潰瘍性大腸炎	開発中期